

見守りセンサー 福祉・障がい者施設、在宅介護など

離れていても動画で様子の確認、職員の負担を軽減します。



AI見守りセンサー センティネア3

転倒検知



侵入検知



SOS検知



会話機能



顔認証



転倒リスク
評価機能



ダッシュボード
機能



アプリ連携



AIチップにより、センサー内部で人間の姿を棒人間に変換。
大事なプライバシー情報がクラウドへ送信・保存されることはありません。

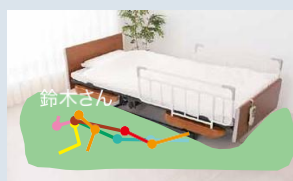
検知機能

転倒検知の応用



① 転倒検知

床(緑色箇所)に転倒すると検知します。



② ベッド落下検知

ベッドは床と認識させず床のみを認識させると、ベッドから床への落下を転倒と判断し検知します。

侵入検知の応用



③ 侵入検知

侵入禁止エリアを設定(青色)すると、そこへ侵入した場合に検知します。徘徊検知などに活用できます。



④ ベッド起き上がり検知

ベッドから上体が起きあがる場所を禁止エリアに設定すると、ベッドからの起きあがりを侵入と判断し検知します。

ヒヤリ・ハットの見える化

会話機能

全てのアラート検知画面から通話機能を利用可能。すぐに駆け付けることができないときでも、通話機能を利用して状況確認が可能です。見守られ側もすぐに誰かの声が聴こえて安心です。

その他機能

顔認証機能



顔写真を最大4枚まで撮影して、名前やカテゴリー（高齢者、職員、来訪者）の登録を行います。するとセンサーが顔認証した人物を認識して名前が表示されます。

棒人間保存動画



録画されたデータは、3か月間クラウド上で保管されます。アプリ上で保存されている動画を簡単に確認できるため、見守り対象者の行動予測等の情報の利活用が可能です。

多種多様な分析グラフ



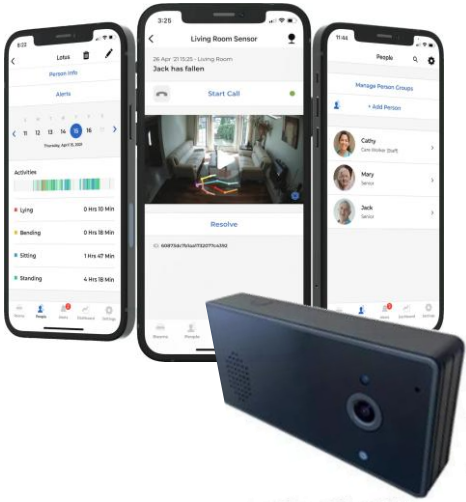
見守り対象者の日常生活をアプリ内で行います。またAIが日頃の行動の活動状況を表示したり転倒場所のマーキングなどを行います。

ios、androidアプリケーションを用意

スマホ、タブレットなどから誰でもダウンロードできるアプリケーションをご用意。アカウント作成、Wi-Fi設定などを行えばすぐにご利用いただけます。設定方法も簡単。動画マニュアルもご用意しています。

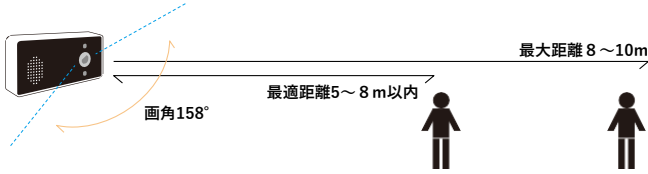
API連携も可能

センティネア3で取得したデータを、既存サービスにクラウド連携する事も可能です。API仕様書を公開可能なので、自社サービスとの連携はもちろん、プラスα機能を付け加えた独自システムの構築も可能です。



■製品仕様

製品名	センティネア3
CPU	Rockchip RV1126/RV1109
DRAM	2GB
eMMC Storage	4GB
4G/LTE	BG95 (optional)
Wi-Fi	Wi-Fi 2.4G/5GHz (WPA2 security protocol)
イメージセンサー	1080p
画角	158°
本体消費電力	5W
外形寸法	104 x 50 x 19 mm
重量	73g
証明書	FCC, IC, MIC
ACアダプター入力	100-240V, 50/60Hz
ACアダプター出力	5V, 2A, USB interface



■機能仕様

	最適距離	最大距離
転倒検知	<6m	10m
SOSサイン検知 ※	<5m	8m
顔認識	<5m	8m
通話機能	<5m	10m

※手を振って救助を求めることの検知

【お問合せ先】



株式会社 システム A・D

〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目5番9号
TEL : 089-915-1881 FAX : 089-915-1882

【開発・導入支援・サポート】
株式会社ユーエムラボ